

<p>事業の目的 現状の課題 市民(地域)のニーズ 必要性</p>	<p>【目的】 1. 多世代が集える「居場所」を創造することで団地住民が安心して暮らせるまちづくりをすすめる。 *茶話会を活動の中心にすえ、手芸サークル、カラオケサークル活動を分離し展開中 2. 高齢化・独居老人が増加に伴い住民の困り事を支える「お互いさま活動」を実施し支援体制を確立する。 【課題】 * 発足から1年半が経過し少しづつ、改善点、今後の課題、参加者のニーズがわかるようになった。 「居場所づくり」* 月2回の茶話会で、第四土曜は、健康体操や牛乳パックのイスづくり等メニューに加えることで、参加者は、増加する。ただお茶だけで過ごすときは、参加者が少なくなることがわかった。ていねいな呼びかけだけでは参加者の増は期待できない。高齢化対策や、子供対策等ニーズに合った活動を探すことが大切だとわかった。 「お互いさま活動」*今年度は13件を経験した。中でも深刻なのは、「病院の付き添い」だ。団地より市民病院まで、タクシーで片道4千円、近くの病院でもバスのコースから外れているためタクシーを使うしかない現状に呆然としている。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>主な内容 実効性</p>	<p>* 「居場所づくり」「お互いさま活動」のちらしを作成し、開催内容毎に、回覧と拡声器を駆使し丁寧に広報活動を展開。 * 茶話会の開催(第二、第四土曜20人/回)をし、手芸1回/月・カラオケ1回/月等順次分離独立させた。 * 第二土曜は、牛乳パックのイスづくり、木工工作づくり。第四土曜は、健康体操を取り入れている。 * 団地内の街づくりに合わせ美化活動として公園の緑化活動(7回/年)木工工作として花瓶づくりを実施。 * 新たに茶話会の中で、「歌声サークルそよかぜ」「ペーパークラフト」を立ち上げ高齢者を元気にさせたい。</p>			
<p>スケジュール 実効性</p>		<p>予定日</p>	<p>予定内容</p>	<p>予定会場</p>	<p>参加者数見込</p>
<p>実施体制① (実施メンバー) 実効性</p>	<p>*天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」役員11名、協力会員76名(役員含む)</p>				
<p>実施体制② (団体の特性) 専門性</p>	<p>* 天伯団地住民で結成、 * 顧問に団地自治会長、副会長、および民生委員をお願いした。 * 天伯校区でいち早く取り組んだ。</p>				
<p>目新しさ エークさ 先駆性</p>	<p>* 有事の際の安否確認旗の製作、公園の清掃活動、屋外用花瓶受の製作により美化活動を先駆けて行う事で、豊橋市全体・校区内の他の町内会に影響を与えられる。</p>				
<p>市民(地域)への効果 公益性</p>	<p>* 地道な広報活動の中で、高齢者が自宅に引きこもらないことを促進し、認知症対策、糖尿病対策につながる。 * 安否確認旗は、市全体、天伯校区全体に水平展開ができる体制が整った。製作の過程で、他校区の多くの見学者が見学に来た。有事の危機意識を高める効果にも繋がる。ひだまりの会で製作し自治会、防災会に影響をあたえた。 * 団地内の挨拶運動が高まり、校区全体に活動的で、元気な団地のイメージアップにつながっている。</p>				
<p>今後の取組 継続性</p>	<p>*市の補助金が3年目以降減額となるため、参加者の拡大、寄付金の増額、自治会補助金の増額で対応する。 *徐々に活動範囲を広げ、今は組織づくりの段階で新たなメニューを加え、本格的な活動はこれからといったつもりで、町内会会員のきずなが更に深まり住み良い団地をめざす。 *有事の際の安否確認旗製作は、H29年度の最大の成果だが30年度に訓練を重ねたい。(H29.2.訓練計画仲) *他校区の活動を参考に。天伯校区にコミティーバス実現は、街づくりを意識した自治会活動でなかで、進めたい。</p>				